

今日の講演内容

ドイツからみた日本

～ドイツでドイツ人と接して考えた事～

2020年11月28日

黒河内 健

現在のベルリン



本日の講演内容

- I 松本とドイツ（ベルリン）**
- II ドイツでの体験**
- III ドイツの歴史**
- IV ドイツの教育**
- V コロナショックで考えた日本とドイツのこと**

本日の講演内容

I 松本とドイツ（ベルリン）

II ドイツでの体験

III ドイツの歴史

IV ドイツの教育

V コロナショックで考えた日本とドイツのこと

松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ①

吉野文六(1918-2015)

- ・松本出身(旧制松本中学-旧制松本高校-東京大学法学部)
- ・1941-45 ドイツ大使館勤務
- ・1978-82 駐西ドイツ大使
外務省アメリカ局長・OECD全権委任大使・外務審議官
＊ 沖縄返還の際の密約にかかわった



松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ①

吉野文六(1918-2015)

日本の外交官と外務省の隅々までを知り尽くす佐藤優が、これまでに接した当事者のなかで**能力、実績、人格ともに最高に評価するのが吉野文六氏**。95歳。吉野氏は、**沖縄返還において日米両政府間に密約が存在したことを、2006年に日本側の交渉当事者として初めて明らかにした**。アメリカ局長、外務審議官、**旧西ドイツ大使**などを歴任した**外交官の「職業的良心」**はいかに生まれ、形成されていったのか。

1941年から1945年にかけて激動の欧州を青年外交官はどのようにとらえたのか。

本書の圧巻は、やはりベルリン大使館勤務になってから、それもベルリン陥落の日々である。修羅場では、その人間性が現われる。大島大使たちはドイツ政府の意向で、大使館を移転させる。吉野ら残留組へ出された指示には、ベルリンの邦人保護という大使館業務の最重要事項が欠けていた。それどころか「倉庫の酒と肴を避難先まで持ってこい」。命がけの、バカバカしい任務。若い吉野は二回もその任務についた。ねぎらいの言葉さえなかった。**この程度の人物が「強引に日独の軍事同盟を押し進め、日本を戦争へと引きずり込む上で大きな役割を果たしていたという事実を歴史にきちんと刻み込んでおく必要がある」**

松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ②

Dr. Herbert Zachert

1933～47年日本滞在
1933～41年旧制松本高校
のドイツ語講師。
のちにベルリン・フンボルト大学、
ボン大学の日本学教授
ベルリン独日協会会長



Herbert Zachert
(1908-1979)

母は日本人
韓国・仁川生まれ

Susanna

(1908 -)

Rudolf Weinsheimer

(元ベルリンフィル・チェリスト)

Friedel

(1934年 松本生まれ)

Hans-Ludwig

(1937年 松本生まれ ドイツ連邦刑事局長)



写真：ニュースダイジェストより

松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ②

「スザンナさんの架けた橋」

Susanna Zachert

雪山香代子 佐々木五律子 著 1996年 集英社

- ・1933-37年（昭和8-12年）の頃の旧制松本高校の様子
- ・当時の松本市民とZachert家や松本在住外国人との交流の様子
- ・1934年に生まれた長女Friedelさんは鈴蘭幼稚園に通った



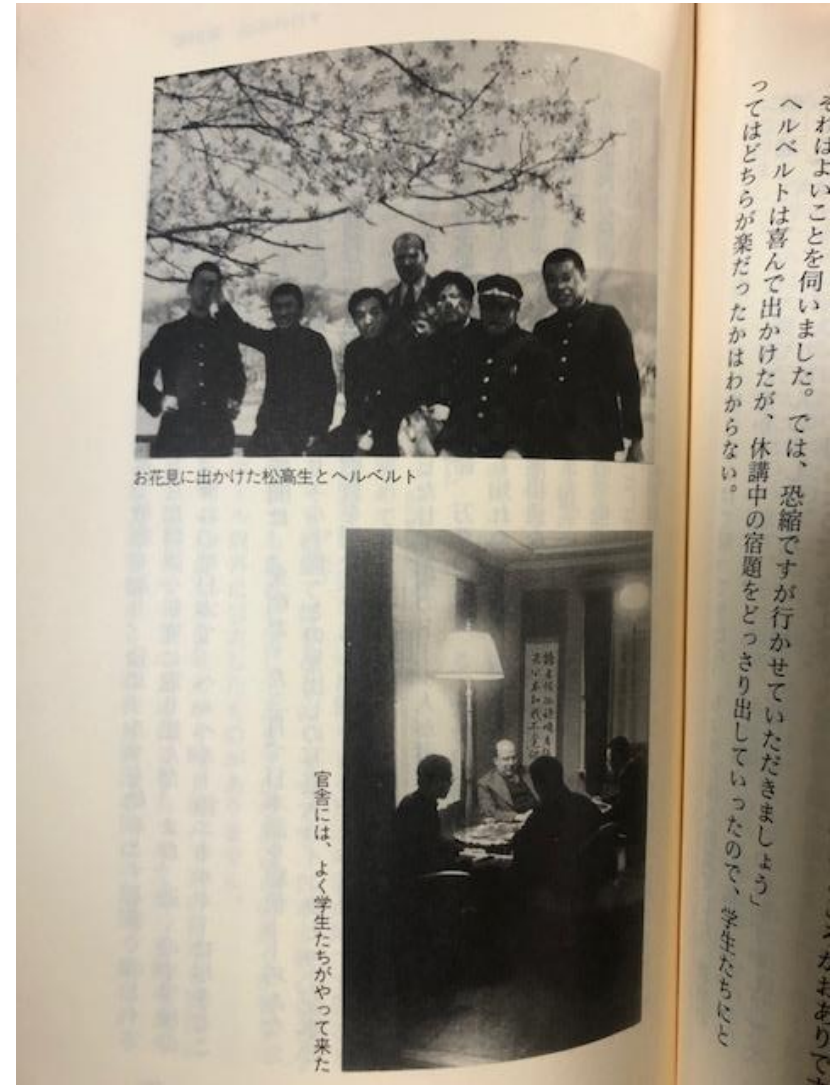
松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ②

「スザンナさんの架けた橋」

Susanna Zachert

雪山香代子 佐々木五律子 著 1996年 集英社



松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ②

「スザンナさんの架けた橋」

Susanna Zachert

雪山香代子 佐々木五律子 著 1996年 集英社



松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ③



Rudolf Weinsheimer氏



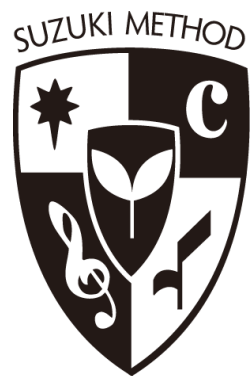
Friedelさん

早稲田大学交響楽団主催
Weinsheimer先生への感謝の会（2018.3 於ベルリン）

松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ④

1920年代（大正～昭和初期）にドイツ留学した二人の音楽家が奇しくものちに松本を「楽都」にする礎を築いた



鈴木 鎮一

ワルトラウト鈴木（夫人）

1921-28 ベルリン留学



斎藤秀雄

1922-27 ライプツィヒ留学

1930-32 ベルリン留学

松本とドイツ（ベルリン）

松本とドイツを結ぶ人物紹介 ⑤



豊田耕児（スズキメソード名誉会長）
1962-79 ベルリン放送交響楽団
コンサートマスター
ベルリン音楽大学教授



真峯紀一郎（スズキメソード・松本出身）
1970-2006 ベルリンドイツオペラ
第1ヴァイオリン奏者
1973-2008 バイロイト音楽祭管弦楽団
第1ヴァイオリン奏者



金澤タケシ（松本出身）
2016- バイロイト音楽祭管弦楽団
第1バイオリン奏者

本日の講演内容

I 松本とドイツ（ベルリン）

II ドイツでの体験

III ドイツの歴史

IV ドイツの教育

V コロナショックで考えた日本とドイツのこと

ドイツでの体験

ドイツ人は 時間厳守

ドイツ人は 心配性

ドイツ人は 節約

ドイツ人は 効率

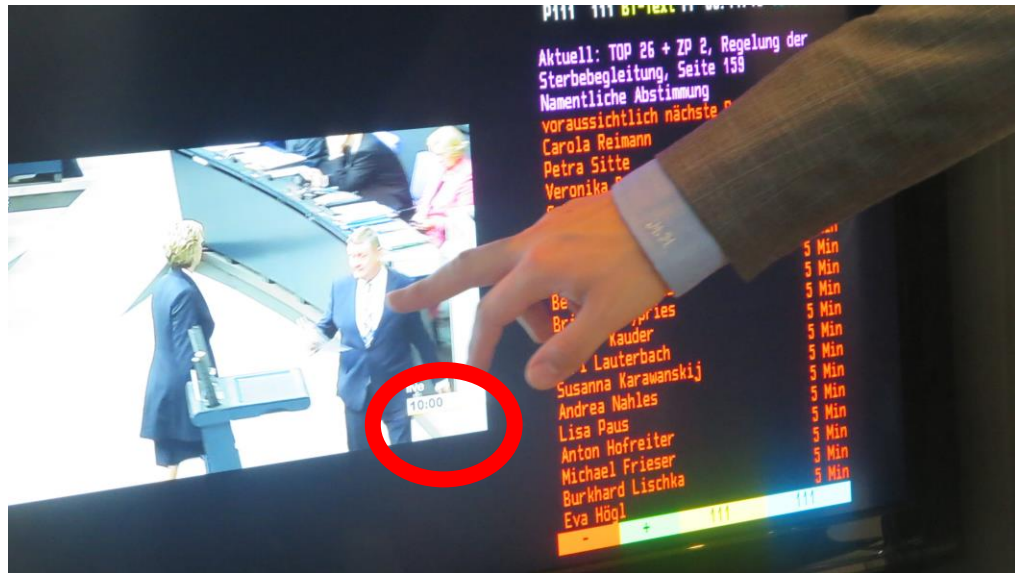
ドイツ人は 体力

ドイツ人は 自分

ドイツでの体験

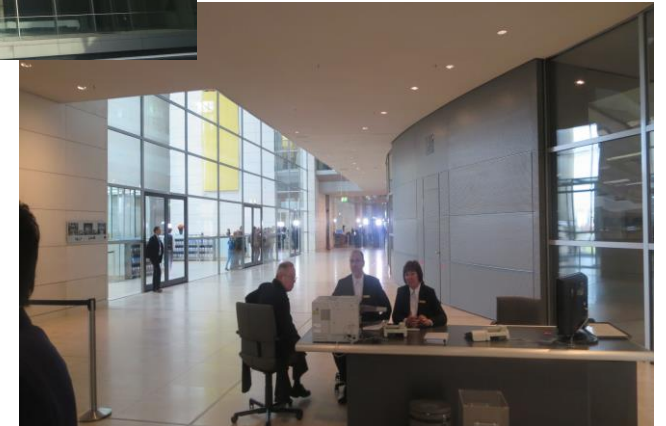
ドイツ人は時間厳守

代表質問も分刻みで時間が決まっている



Bundestag

(ドイツ連邦共和国 国会議事堂)



ドイツでの体験

ドイツ人は心配性

心配性 = ありえない程の最悪を想定 = リスク管理

ドイツはコロナ発生の8年前に大規模なパンデミック発生を想定し、対策シミュレーションを行っていた

ドイツでの体験

ドイツ人は節約

ドイツ流生活 = DIY・リサイクル

- ・家の内装はすべてDIYがあたりまえ
- ・不要物は捨てる前にまず自宅前フリマ

ドイツでの体験

ドイツ人は効率

効率 = 安・楽・短 = 働き方改革

- ・日本本社の指示と抵抗する現地スタッフの板挟
- ・仕事やサービスは完璧を求めない

ドイツでの体験

ドイツ人は体力

体力 = 遊び・祭り = 持久力

オペラ公演千秋楽の打ち上げは？
創業25周年パーティに招かれた・・

ドイツでの体験

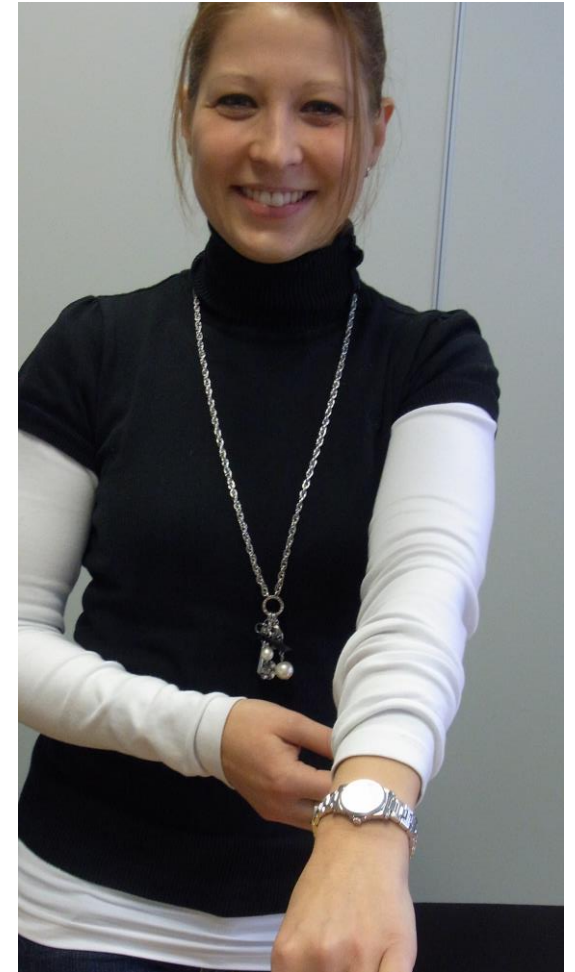
ドイツ人は自分

ドイツ人にお裾分けはない？

「俺の分は自分で持ってきた！」

ドイツでの体験

♪ ドイツ人社員と一緒に（2010）



ドイツでの体験

忘れられない衝撃的な体験



いきなりスピーチでこの
Qualityの高さは
日本では考えられない！



ドイツでの体験

ドイツ人は常に自分で考え、そして発言する

ドイツ人皆がこれができるのはなぜ？

ドイツでの体験

ドイツ人は常に自分で考え、そして言語化する

ニュース番組に（専門外の）コメンテーターはいない

少年サッカーのコーチがプレーを止めた後に言った事は？

CDの演奏を真似て弾いたら先生に止められて・・・

本日の講演内容

I 松本とドイツ（ベルリン）

II ドイツでの体験

III ドイツの歴史

IV ドイツの教育

V コロナショックで考えた日本とドイツのこと

ドイツの歴史

ドイツは歴史的に連邦国家＝地方分権

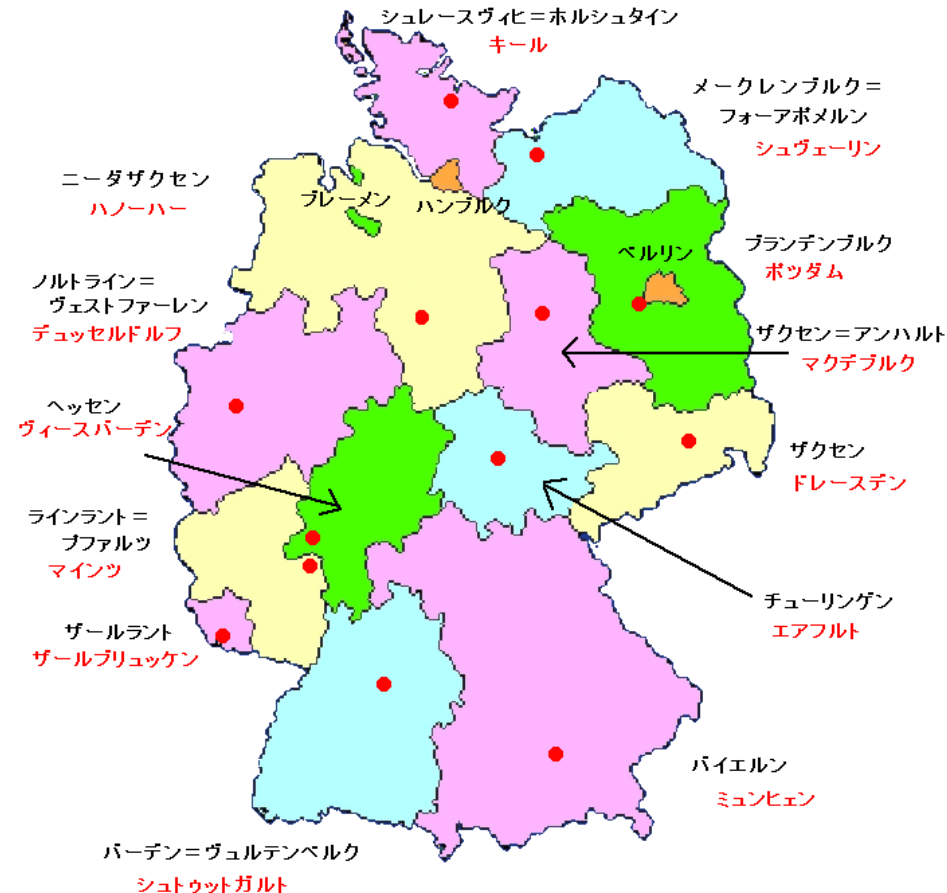


- 1871年 プロイセンによるドイツ統一
- プロイセン対バイエルンは今も残る（＝ベルリン対ミュンヘン）
- その他の地域も紆余曲折をへてドイツ帝国の一員となった

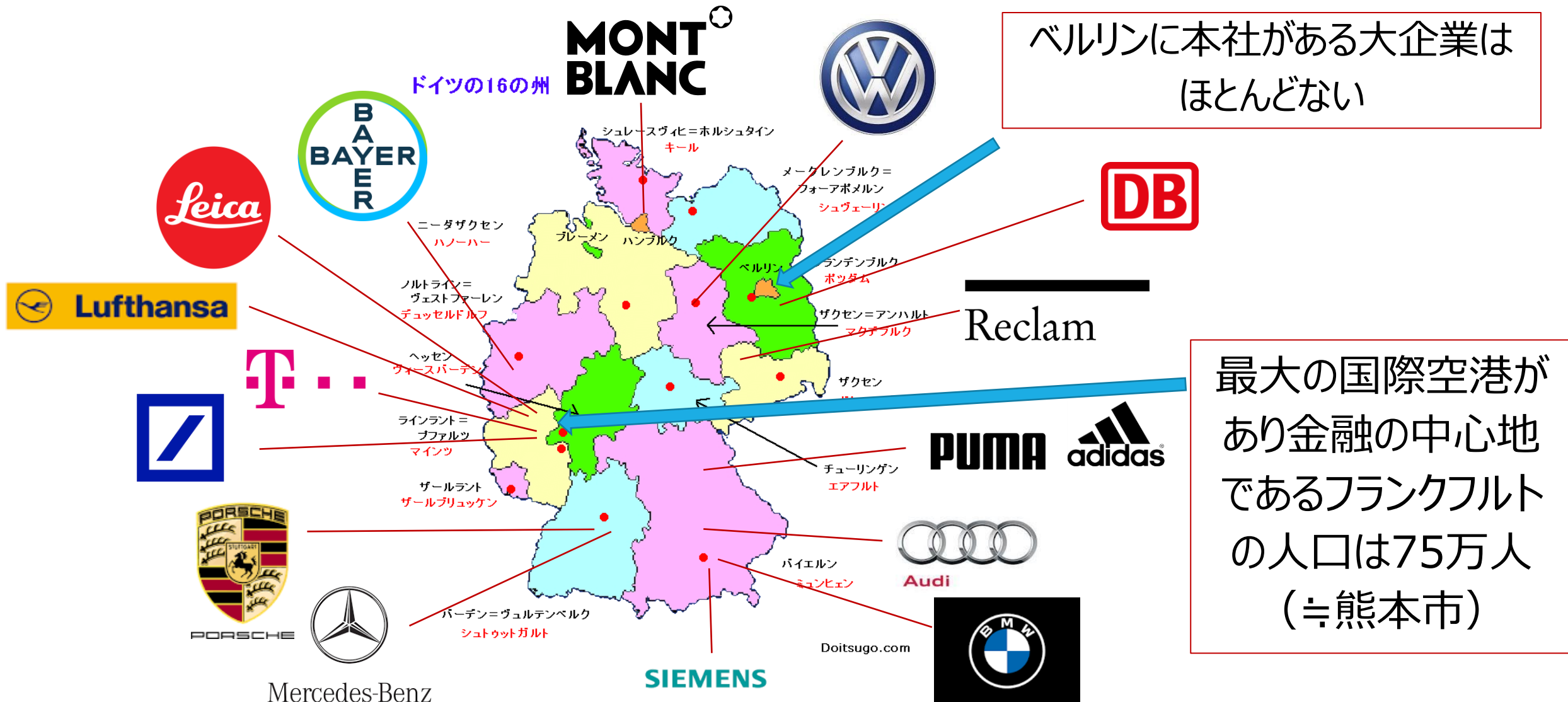
ドイツの歴史

ドイツは歴史的に各地方の独立色強い 人も企業も分散

ドイツの16の州



ドイツの歴史



ドイツの歴史

ドイツの強さは地方に点在する優れた中小企業の層の厚さ

ドイツの16の州

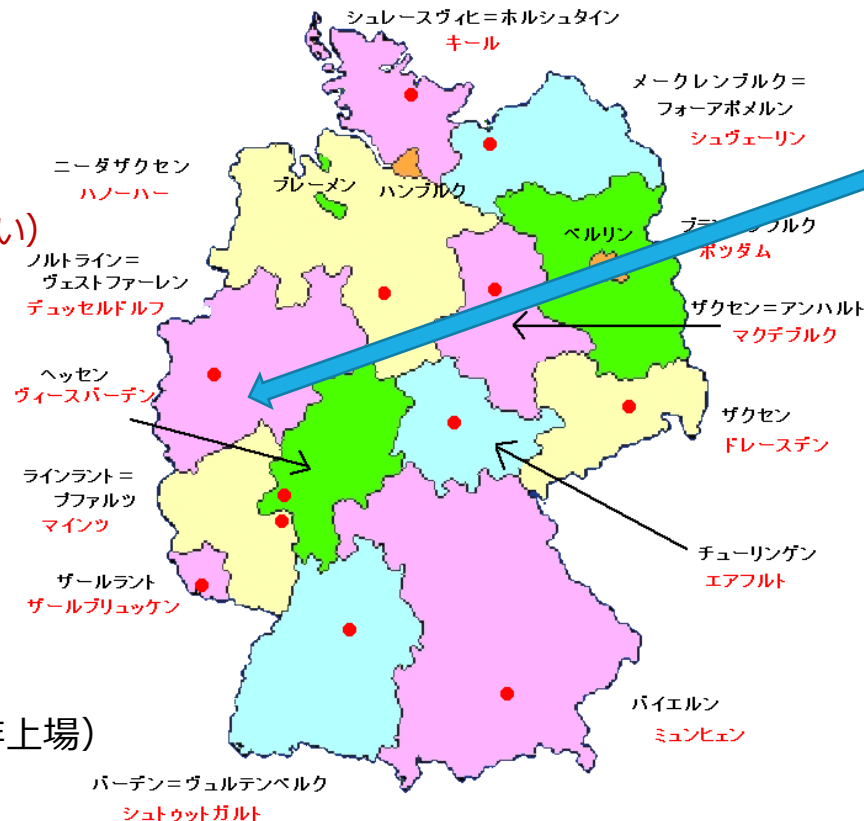
Mittelstand

(隠れたチャンピオン企業)

- ・伝統産業（製造業多くIT企業少ない）
- ・独自技術
- ・ニッチ市場
- ・高い世界シェア
- ・家族経営（非上場）

信州の地場企業と似ている！

- ・伊那食品工業
〈寒天食品国内80%・世界15%、非上場〉
- ・多摩川精機
〈角度センサー世界シェア90%、同族経営、非上場〉



Doitsugo.com

例えば



- ・世界中の病院用ベッド
のキャスターはほとんど
TENTE製
- ・スーツケース（RIMOWA）
のキャスターは100%
TENTE製



ドイツの歴史

近現代ドイツ150年

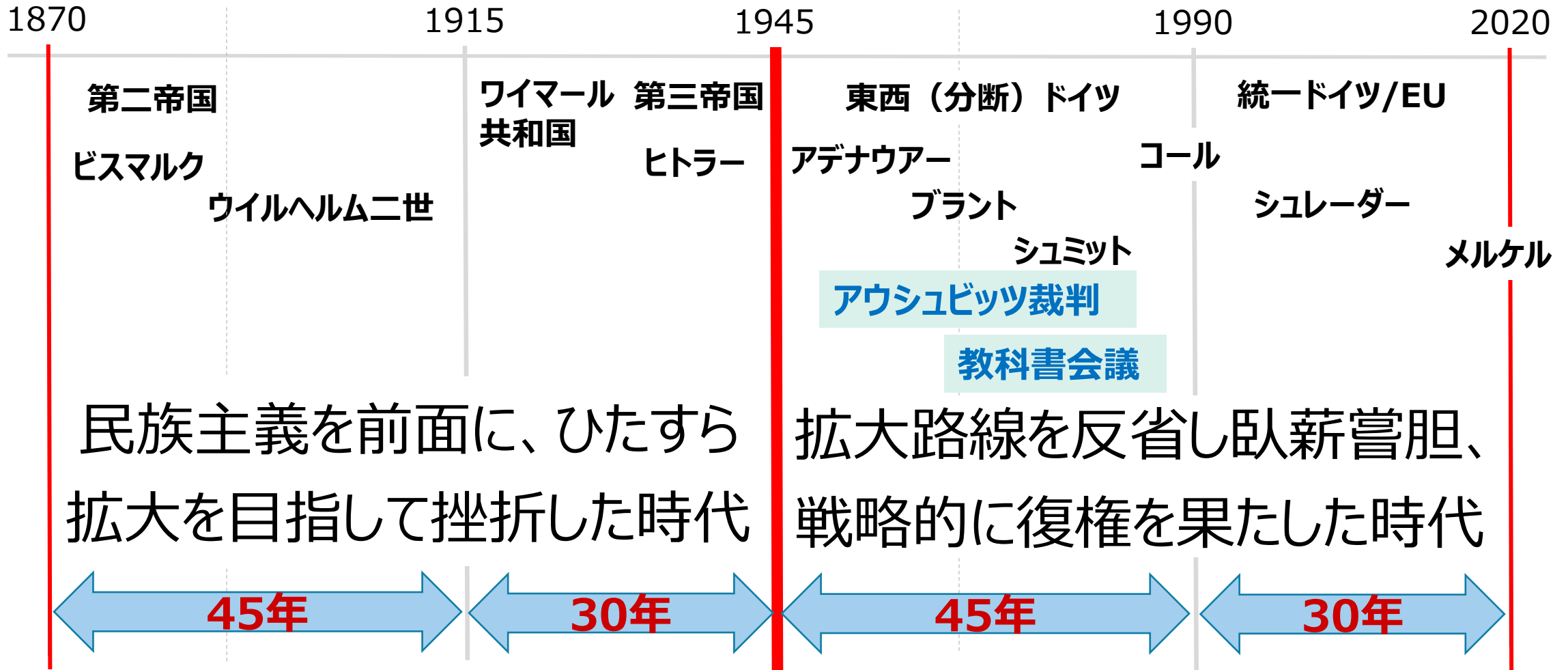
$$(45 + 30) * 2 = 150$$

75年周期

☆そろそろ大きな非連続が訪れる可能性

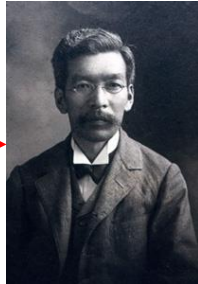
ドイツの歴史

近現代ドイツ 第二次大戦終戦を中心に75年周期



ドイツの歴史

ドイツと日本の近現代年表① 1870-1915 (45 30 45 30)
第二帝国時代 = 明治時代

年代	政治		経済・学術		芸術・スポーツ		教育	
	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本
1870-1890 (ビスマルク) 	第二帝国	明治	ナウマン (1875-85)	伊藤博文 (1882)			学校監督法 (1872)	学問のすすめ (1872-76)
1890-1915 (ヴィルヘルム II) 				森鷗外 (1882-88)				
				北里柴三郎 (1886-92)				
				山極勝三郎 (1891-94)				
			R・コッホ (1908)					
						滝廉太郎 (1901-02)		教育勅語 (1890)
						山田耕筰 (1910-14)		
					がん研究の先駆者 山極勝三郎 (上田出身)			

ドイツの歴史

ドイツと日本の近現代年表② 1915-1945 (45 30 45 30)
ワイマール共和国・ナチス (第三帝国) 時代 = 大正～戦前昭和時代

年代	政治		経済・学術		芸術・スポーツ		教育	
	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本
1915-1930	ワイマール共和国	大正	アインシュタイン (1922)	斎藤茂吉 (1921-24)	ドイツ人捕虜 4700人 (1914-20)	鈴木鎮一 (1921-28)	オットー教会 (1913)	大正自由教育運動
1930-1945 (ヒトラー)	第三帝国	昭和 (戦前)	ヘルベルト・ ツァヘルト (1933-41)			斎藤秀雄 (1922-27/ 1930-32)	基礎学校法 (1921)	成城小学校 (1917) 府立五中 (1918) 伊藤長七 (1921)
		大島浩				前畑秀子 (1936) 田島直人 (1936)		文化学院 (1921)
		吉野文六						
							五中初代校長 伊藤長七 (諏訪出身)	

ドイツの歴史

ドイツと日本の近現代年表③ 1945-1990 (45 30 45 30)

東西分断ドイツ時代 = 戦後昭和時代

年代	政治		経済・学術		文化・スポーツ		教育	
	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本
 アデナウアー (1949-1963)	連邦共和 (西) ドイツ基本法 (1949)	昭和 (戦後)					歴史教科書 「諸民族の道」 (1950年代)	旧教育基本法 (1947)
 ブラント (1969-74)	民主共和 (東) アウシュビッツ裁判 →非ナチ化の徹底	安保闘争		日本企業の ドイツ進出		東京オリンピック (1964)	「反セム主義的 暴行事件に関する声 明」 (1960)	
 シュミット (1974-82)	EC(1967 -) 東西冷戦の最前線 極左テロ	大学紛争		日本人音楽家の 留学		日本人サッカー選手 の国際化	ドイツ = イスラエル 教科書会議 (1970年代)	人材確保法 (1974)
コール (1982-98)		吉野文六 (駐西独 大使)		駐西ドイツ大使 吉野文六 (松本出身)		奥寺康彦 (1977-86)		
		赤軍						

ドイツの歴史

ドイツと日本の近現代年表④ 1945-1990 (45 30 45 30)
統一ドイツ時代 = 平成時代

年代	政治		経済・学術		文化・スポーツ		教育	
	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本	ドイツ	日本
 コール (1982-98)  シュレーダー (1998-2005)  メルケル (2005-)	EU (1993-) 緑の党 AGENDA 2010 (2003) EUの盟主	平成前期 連立政権 平成後期 民主党政権 自民党政権	経済停滞 ユーロ導入 (1999-) AGENDA2010に よる競争力強化及 びユーロの恩恵によ る好景気 国家財政規律維持	バブル崩壊低成長 「失われた10年」 リーマン・震災を経て アベノミクスによる再興	 ワールドカップ 開催 (2006) サッカー Wカップ優勝 (2014)	 日本人サッカー 選手（長谷部・ 香川・内田・岡 崎・酒井…）	68世代の台頭 （緑の党 ジョシカ・フィシャー、 シュレーダー、 メルケル） 新教育基本法 (2006)	

ドイツの歴史（近現代150年のまとめ）

＜前半の75年＞

- 2度の戦争による軍事拡大路線は完全に失敗した

＜後半の75年＞

- 前半75年の反省にたち、非ナチ化・平和路線を愚直に行い国際的な信用回復を果たした
- これを戦後世代が親世代を突き上げる形で達成してきた
- 統合後の厳しい国内改革を戦略的なEU/ユーロ先導で達成し、平和的に欧州の盟主たるポジションを勝ち取った

ドイツの歴史（近現代150年のまとめ）

＜メルケル後＞

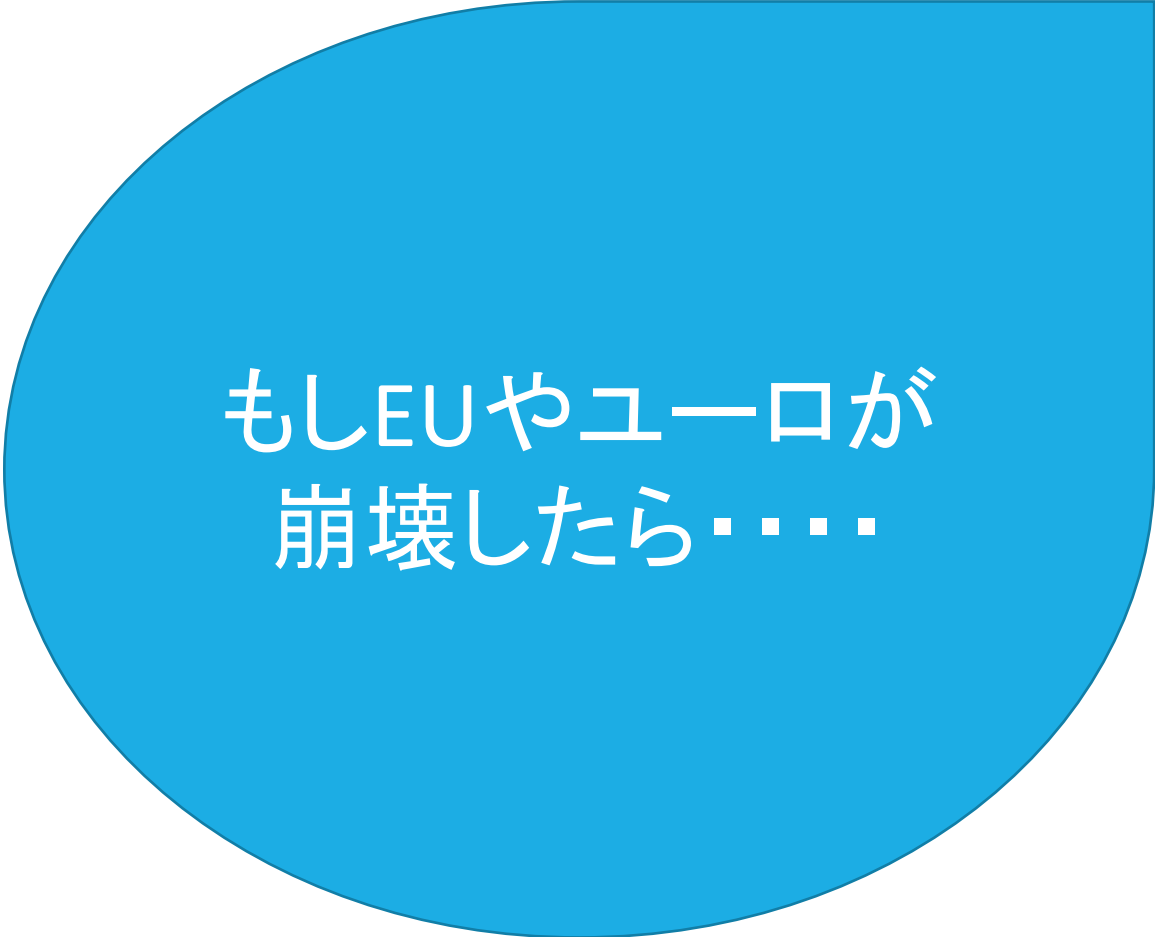
楽観シナリオ

- 難民 → 圧倒的な経済・政治力をベースに難民問題を解決し、欧州/世界での国際的リーダーシップを確立
 - コロナ → 危機対応能力を発揮し早期にコロナを克服し隣国への支援や国内経済の早期回復で政治・経済で競争力を継続
-

悲観シナリオ

- 難民 → 移民政策の反動で国内ポピュリズムが台頭し、ドイツの国際社会でのリーダーシップを奪う
- コロナ → 先端技術分野で米中の技術革新力の後塵を拝し経済力がダウンする（ITサービス・通信・バイオ・環境・電気自動車）

ドイツの歴史（近現代150年のまとめ）



もしEUやユーロが
崩壊したら……

ドイツの歴史（近現代150年のまとめ）

ドイツのポピュリズム

・ザラツィン論争（2010）

『Deutschland schafft sich ab』（ドイツは自滅する）

3ヶ月で100万部の大ベストセラー

大統領命令によりドイツ連邦銀行理事職を解任



Thilo Sarrazin
(1945–)

中央銀行の役員は8名で
4名は大統領指名
Sarrazinは事実上の
No3だった



・Afd（Alternative für Deutschlandドイツの為の選択肢）

反EU 反ユーロ 反メルケル 反イスラム ドイツ国粋主義

2017年に野党第1党に進出（旧東ドイツの州で強い）

現在の与党や他野党への失望の受け皿として勢力拡大



本日の講演内容

I 松本とドイツ（ベルリン）

II ドイツでの体験

III ドイツの歴史

IV ドイツの教育

V コロナショックで考えた日本とドイツのこと

ドイツの教育

ドイツの教育制度の歴史

<前半75年 : ドイツ統一～第二次世界大戦終戦>

学校監督法（1872） ……国民学校＝学校教育を教会から国家へ
教養派（旧勢力）Vs実学派（ウイルヘルムⅡ）

オットー協会（1913） ……生徒本位の学校教育の民主化思想
＊日本からも視察団が訪れた

基礎学校法（1921） ……統一学校＝階級と宗派からの解放
＊実際は政治党派対立の妥協の産物

ドイツ学生連合（1919） Vs ナチス学生同盟（1926）

「共和国」派学生連合が「民族主義」派学生に敗北→「ナチス学生同盟」を経て共和国の理想は消滅した

ドイツの教育

ドイツの教育制度の歴史

<後半75年 : 第二次世界大戦終戦～現在>

ドイツ連邦共和国基本法 (1949)

- .. 教育については各州の専管事項
 - 単線型学校制度・国主導 (東ドイツ)
 - 複線型学校制度・州主導 (西ドイツ)
- .. 基本法はドイツ連邦共和国 (西ドイツ) が引き継がれた

* ドイツ統一 (1990)

PISAショック (2000)

- .. 国際学力テストで国際平均以下
階層、地域 (州) 間、学校種別の格差も判明

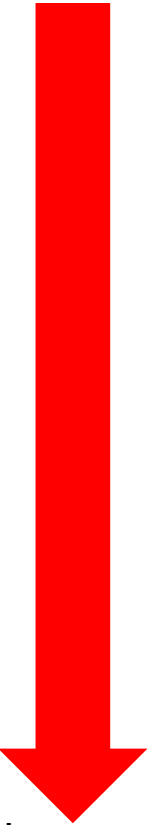
「新制御」政策 (2000-)

- .. 国家主導の新教育政策
教育の公正さ (機会均等) 教育の質の保証 (教員養成)

ドイツの教育

ドイツの教育制度の歴史 ＜非ナチ化の取り組み＞

- 1945- 非ナチ教育の枠組み構築
- 1950代 歴史教科書「諸民族の道」…ユダヤ人大量虐殺を解説
その後の教科書ではユダヤ人迫害の記述は減っていった (ナチの記述が2-3行のみ)
- 1960代 「反セム主義的暴行事件に関する声明」 (1960)
全体主義に対する民主主義教育を重視する観点から再びユダヤ人迫害がとりあげられた
60年代後半～70年代に歴史教科書が大幅改定され ユダヤ人迫害についての記述が増えた
- 1970代 ドイツ＝イスラエル教科書会議 (全5回)
ナチの戦争犯罪、ユダヤ人迫害の記述については満点の評価
- 1980代 ヒトラー・ナチスの犯罪から 一般ドイツ人の責任を問う視点に変化
全国作文コンクール「ナチ時代の日常」
- 1990代 一般ドイツ人のユダヤ人迫害への関わりについての記述が定着
ナチスのユダヤ人大量殺戮は「知らなかった」のではなく「知ろうとしなかっただけ」
「知っていたけど沈黙していただけ」と断罪
- 2000代 移民、ドイツ以外の親をもつ子供の増加により 学校現場での民族対立が先鋭化
＊ラーベンシュタイナー実科学校事件 …ナチ標語の署名をめぐるドイツ人生徒とトルコ人生徒の対立
- 2010代 非ナチ化の為のホロコースト教育から 社会的弱者全体を意識した人権教育の視点にシフト



ドイツの教育

ドイツの教育制度の歴史 ＜非ナチ化の取り組み＞

①1960年代 教科書記述の修正

戦争経緯のみからユダヤ人大量虐殺の詳細記述へ

②1963－35 アウシュビッツ裁判

戦後世代の親世代への突き上げ

ナチ関係者の徹底的な事実解明と追及

③教科書会議

敵対国との真摯な対話による歴史事実の確定

戦前～現在 西ドイツ-フランス教科書会議

1960年代 西ドイツ-ポーランド教科書会議

1970年代 西ドイツ-イスラエル教科書会議

ドイツの教育

ドイツの教育制度の歴史 ＜非ナチ化の取り組み＞

④ 1980年代 作文コンクール「ナチ時代の日常」

ナチ関与のない一般人の責任を追及

「知らなかった」のは「知ろうとしなかった」

「何もしなかった」は「見て見ぬふりをした」

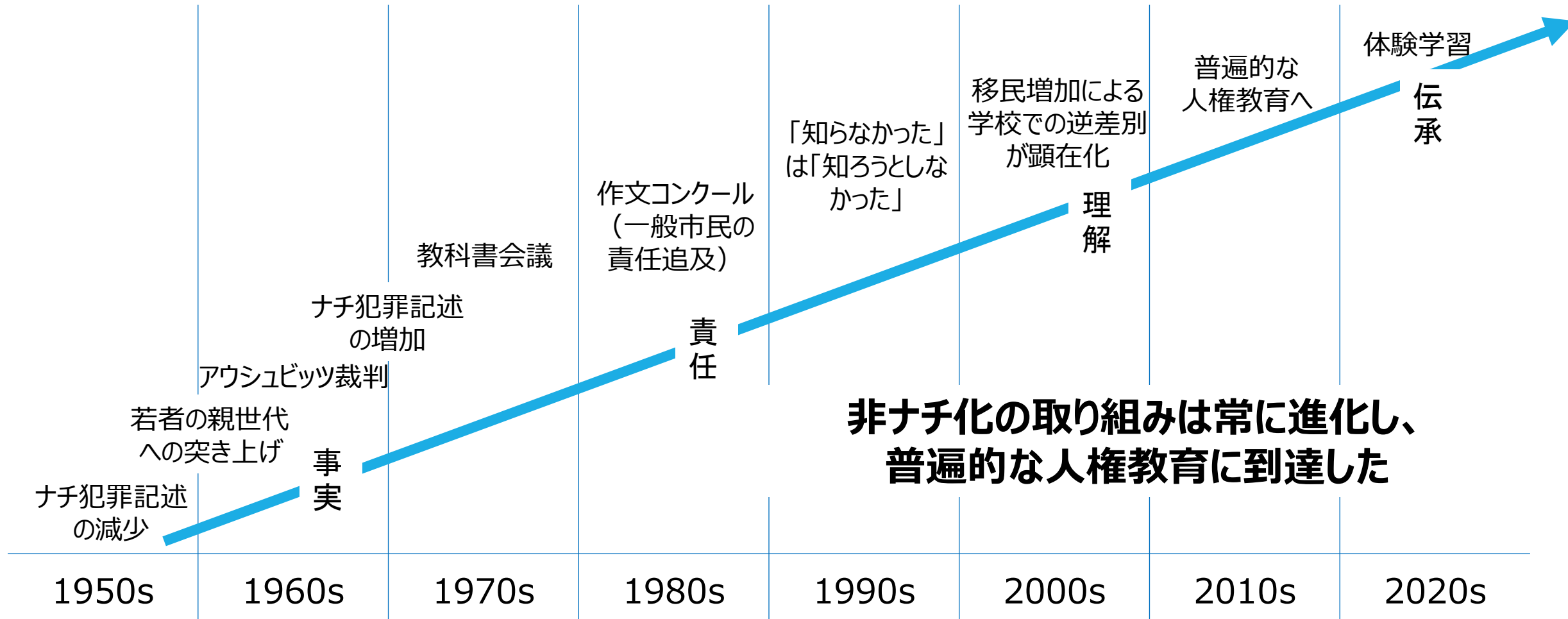
⑤ ～現在 教育現場での体験学習

NGO「償いの証」

Aktion Sühnezeichen Friedensdienst = ASF

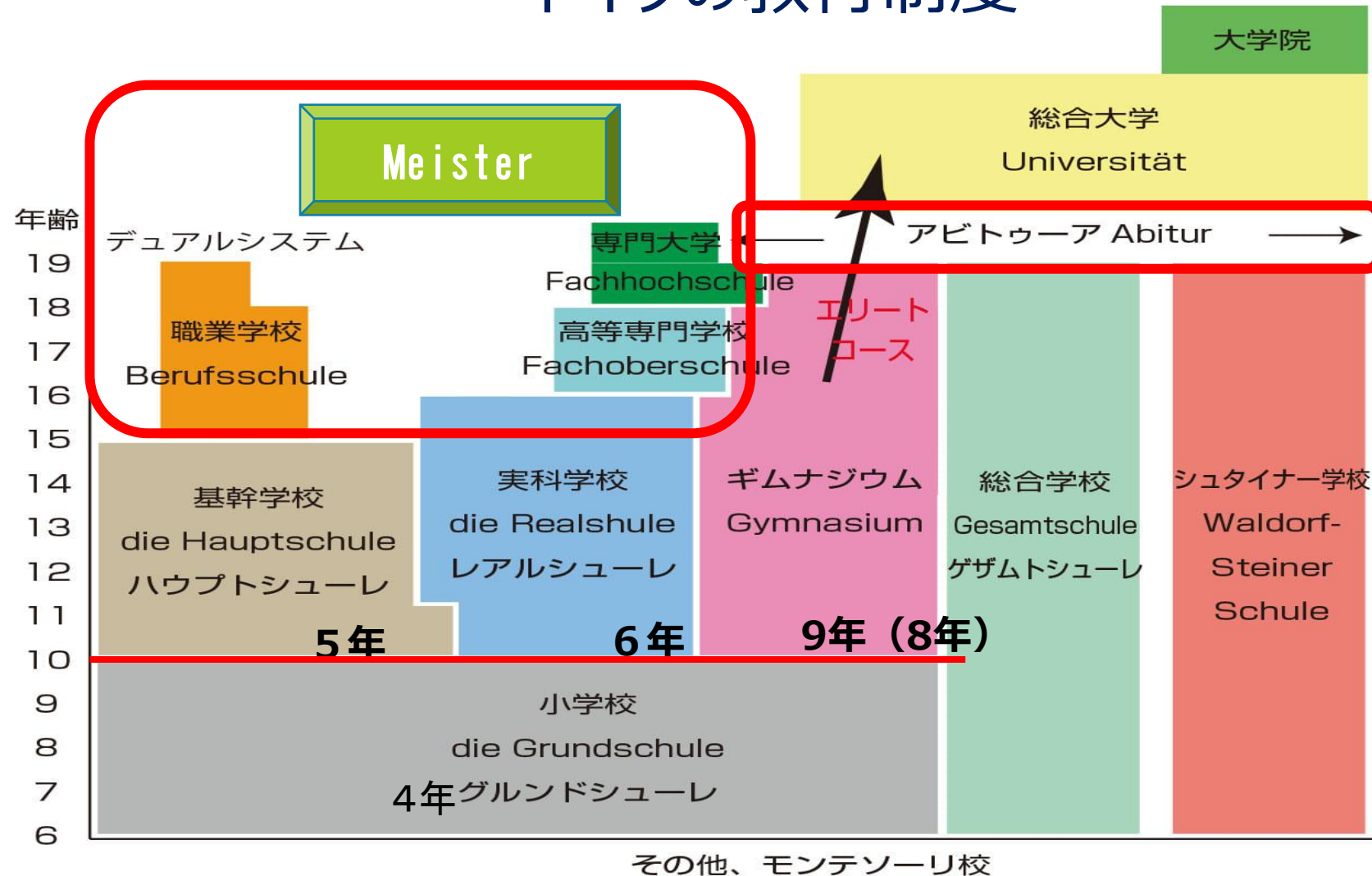
ドイツの教育

ドイツの教育制度の歴史 ＜非ナチ化の取り組み＞



ドイツの教育

ドイツの教育制度



ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴 I （学校教育）

- 10歳で基本的な人生コースの選択
- 最近は多くの生徒がギムナジウムに。基幹学校はドイツ語のできない移民の子が多い
- 大学進学は**Abitur**の成績次第
- 大学までは**学費は無料**
- 教育行政の主体は州（学力の州間格差も）
- 但し戦略的な動きは国が主導

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅱ（社会人教育）

■ Dualシステム

- * 職業訓練校 + 企業研修生
- * 20代の大卒未就職者が短期契約で数社で働き職業経験を積むパターンも

Duales Studium / Bildungs Urlaub

■ PI4 = 'Platform Industry 4.0'

= IOT推進の為に国家レベル社会人教育

- * 国家（連邦教育科学省）が先導
- * 大企業中心の職業訓練的な社員研修プロジェクト = 国際競争力UP
- * 目的 = 「国際競争力UP」 & 「中堅層～高齢者の雇用維持」の2面性

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅲ (Abitur)

ドイツのAbiturとは

Abitur = 高校卒業試験 + 大学入学資格試験

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅲ (Abitur)

・何日くらいで何分くらいの試験が何教科あるのか？

今年は4月30日ー 5月29日 までの期間 5科目

筆記 3科目 5月11 日まで

口頭 2科目

そのうち必修 2科目 ドイツ語、数学

・口頭試問や面接はあるのか？ 何分くらいでどんな内容なのか？

ある。今年は5 月 18 日ー 5月 29 日 までの期間

はじめに準備時間30分をもらう (テーマをもらいそれについて自分の意見をまとめる)

テスト時間 30 分 (本論を述べる 10 分、それについての質問 5分、11,12年生の科目内容について答える、15分)

・試験は穴埋めや短い問題がいくつも出るのか、論文形式で「・・・についてXXX字で論ぜよ」みたいなのがいっぱい出るのか？

科目によって違う

ドイツ語 : 6-10 ページの論文を書く

数学 : 出された問題を解く

歴史 : テーマは11-12年生の授業から出される。バイエルン教育局が作成した3 題より教師が2 題選び、生徒がそれに答える

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅲ（Abitur）

・生徒はどんな準備をするのか？

11年生12年生の授業を理解する（その成績がアビトゥアにプラスされる）

・GymnasiumではAbitur対策みたいな授業をするのか、生徒が自分で試験対策をするのか？

11年生12年生の授業がアビトゥア対策でもある。アビトゥアの総合点 900ポイントのうち（ギムナジウム成績が600ポイント、アビトゥア試験が300ポイント）なので、ギムナジウムでいい点を取るの是有利である
生徒が自分で試験対策をするのかは、生徒個人の自由であるが 自主学習は授業理解に役立つ

・Abitur対策として学校以外の塾や個人家庭教師みたいなものはあるのか？

ない。ただし個人的に家庭教師を探す生徒もいる

・Abiturの試験結果と進学したい大学とは関係があるのか（XX大学はXX点以上でないと入学できないとか）

ある。大学や科目によるが、アビトゥアのスコアによって決まる場合が多い。例えば定員200人とする大学側は平均点数を指定し、成績上位の者から200人をとっていく。入学基準は アビトゥア成績を50-70%とその他は学部の専門にあった活動 50-30%を考慮して決める。例えば医学部だと、救急車のボランティア隊員になったとか、体育大学なら、スポーツチームのリーダーになったとか、加算される

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅲ (Abitur)

・州によってレベルが違う（たとえばバイエルンはレベルが高い）とよくききますが、同じ大学でバイエルンのAbiturだったら500点で入学許可するけど、違う州のAbiturだったらもっと高い点数じゃないとはいれないとか、そういうことなのでしょうか？

州によってレベルが違うことは大学側も承知していて、出身州により+10%あるいは-10%の加算、減点はある。
バイエルンはアビトゥア取得の点が高く、北ドイツ各州のほうがやさしい

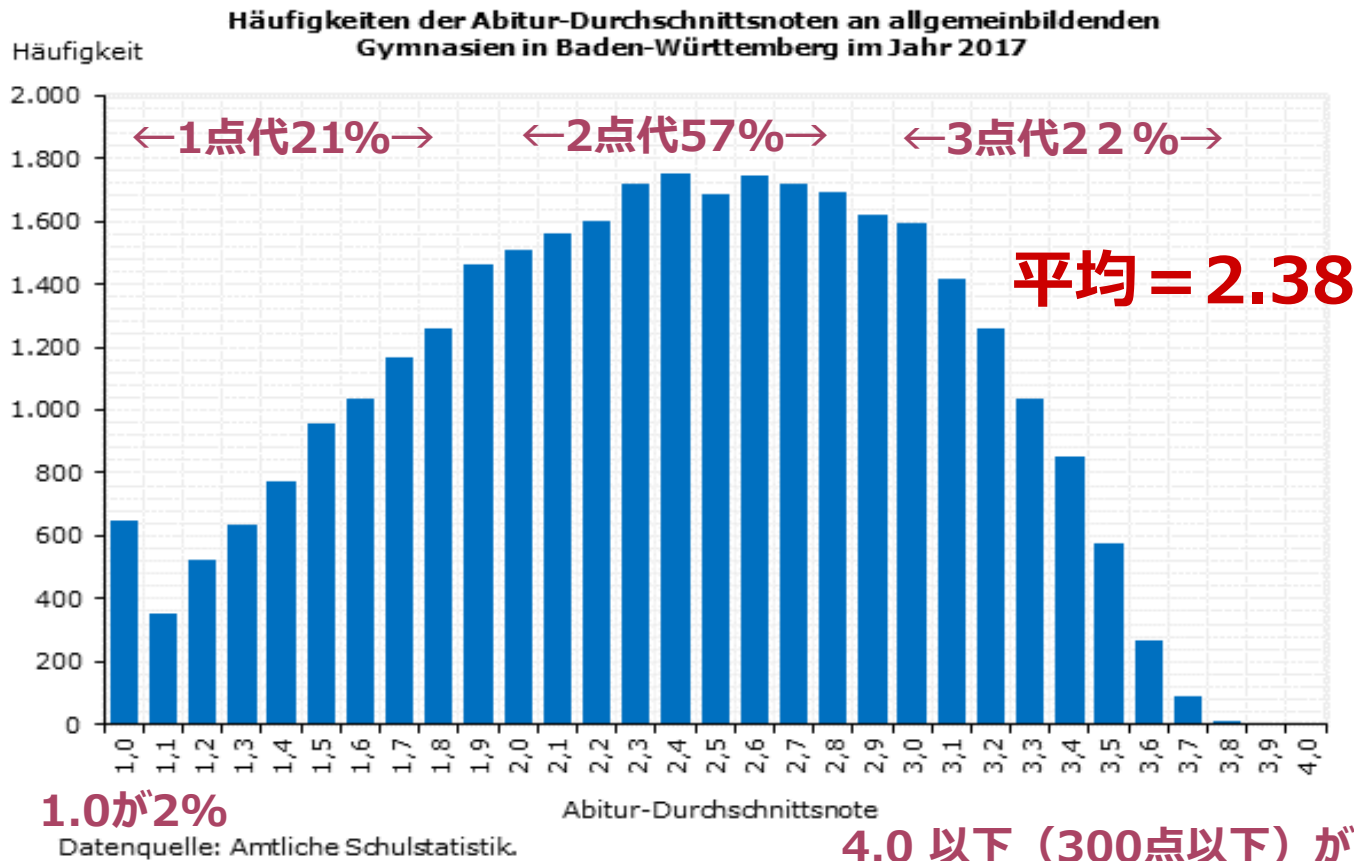
・私の問題意識として、ドイツ人が話すのがうまいのは、小さいころから自分で考えてそれをきちんと表現する訓練、
＝思考の鍛錬＝、が鍛えられているから、それとAbiturが記憶より論理を見る試験だから、ではないかと推測しているのですが、あたっているでしょうか？

ドイツでは暗記が必要なのは、リアルシューレ、ハウプトシューレ出身の一般労働者であり、大学卒の上級労働者には暗記より、理解と応用が重視されるという考え方がある。ギムナジウムの試験問題は論文形式が多いので、質問に応じて論文を作成し、文章にまとめる力、思考力、表現力が要求される。

ハウプトシューレは、教育に関心のない家庭、外人労働者の家庭の出身生が多く、将来低賃金の3K労働者になる割合が高いとして、不人気である。最近はギムナジウム志向が高く、進学率は50%になるといわれる。本来ギムナジウム向きでない子もまじっているといわれる。ハウプトシューあるいはリアルシューレ出身者のギムナジウム進学は困難だが成績が良ければ可能である。

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅲ (Abitur)



© Statistisches Landesamt Baden-Württemberg 2018

Baden-Württemberg (首都: Stuttgart)のAbitur2017年結果

- Abitur900点満点
600点 = Gymnasiumの成績
300点 = 試験の成績
- 823-900点 = 1.0 (最高得点)
805-822点 = 1.1
... 0.1点刻み
= 4.1 (最低合格点)
300点以下 = 不合格
- 医学部入学には1.1か1.0が必要 (制度ではない)

* 中等教育の終了 (卒業認定) は各学校長でなく
州の文部大臣の権限

ドイツの教育

- 卒業試験と入学試験を兼ねる

実施は州単位。裁量権は学校長でなく州の文部大臣

- 毎年卒業時期に 1 ヶ月もかけて行う

配点は試験が 1 / 3 残り 2 / 3 はGymnasiumの成績

- 論理思考と表現力

論文、口頭試問により徹底的な論理思考、表現力が試される

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅳ（Meister）

- ・中世の手工業者同業組合組織に起源（マイスターのもとで丁稚修行しマイスター試験に挑戦）
- ・1869年のドイツ営業法で旧制度は廃止。1900年から新資格証明制度がスタートし
1953年のドイツ手工業秩序法により現在の制度が定着した
- ・マイスター = 大学卒業学位と同等の社会的prestige
- ・「手工業マイスター（94種）」
パン 眼鏡 理容 歯科技工 煙突掃除 家具 ビール醸造 楽器……
- ・「工業マイスター（300種以上）」
情報技術 金属加工 自動車整備 電気整備 営業販売 ..



ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅳ（Meister）

基幹学校、実科学校を卒業



職業訓練校＋職場実習 （DUAL SYSTEM）



ゲゼレ（国家資格）取得・・・試験はMax 3 回まで



マイスター学校 または 企業就職

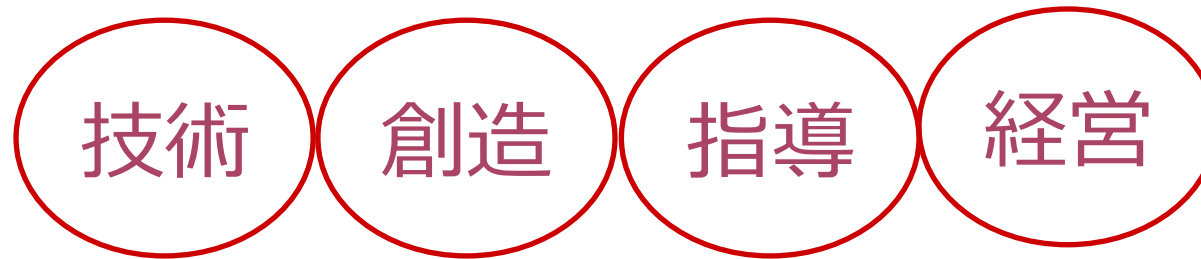


マイスター（国家資格）取得・・・試験は実技と専門知識（簿記・経理・民法・教育学）
科目ごとに合否があり再受験可能だがMax2回

ドイツの教育

ドイツの教育制度の特徴Ⅳ（Meister）

マイスターになるための必要は 4 つの素養



ゲゼレは一職人だがマイスターは経営者

ドイツでは「師匠の背中を見て学べ」「ノウハウは師匠から盗むもの」は通用しない

= 親方（マイスター）には弟子を育成する

論理的な思考と高いコミュニケーション能力が求められる

ドイツの教育 まとめ

現代ドイツの教育

- 現在のドイツの教育の根幹を形作っているもの
 - ①非ナチ化教育
 - ②Abitur
 - ③Meister
 - ④社会人教育（リカレント教育）
- 教育は国家（教育は重要な戦略インフラ投資）
- 理論と実学のバランス

ドイツの教育 まとめ

以上の背景により、ドイツの教育では以下のことが需要視される

- 覚えることより考えること
自分だったらどうするか
- 考えるだけでなく言葉で表現する訓練
沈黙は無知
- 自分が思ったことは率直に相手に伝え、相手の意見も尊重する
議論は相互理解、関係構築の第一歩
- 知る義務と批判精神
知らなかった = 知ろうとしなかった

ドイツの教育 まとめ

ドイツの歴史の転換点において今後の教育と関係する大きな課題

■ 移民問題（ポピュリズム）

■ 超管理国家への傾倒（パンデミック）

- 現在のドイツは、移民問題に端を発し世界的な自国第一主義の影響を受けたポピュリズムと、コロナ危機をきっかけに台頭する国家管理型社会への傾倒という2つの挑戦を受けている。
- 今後ドイツが1920-30年代の不幸な歴史を繰り返さないで踏みとどまるかどうかは、ドイツ国民が戦後の教育によって培った健全な批判精神を維持できるかによる。特にこれからの若者に戦後教育を継続できるかがカギとなる。

本日の講演内容

I 松本とドイツ（ベルリン）

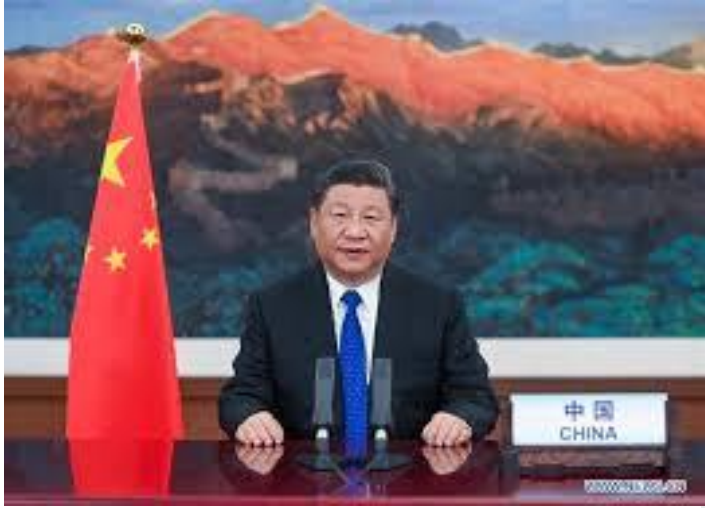
II ドイツでの体験

III ドイツの歴史

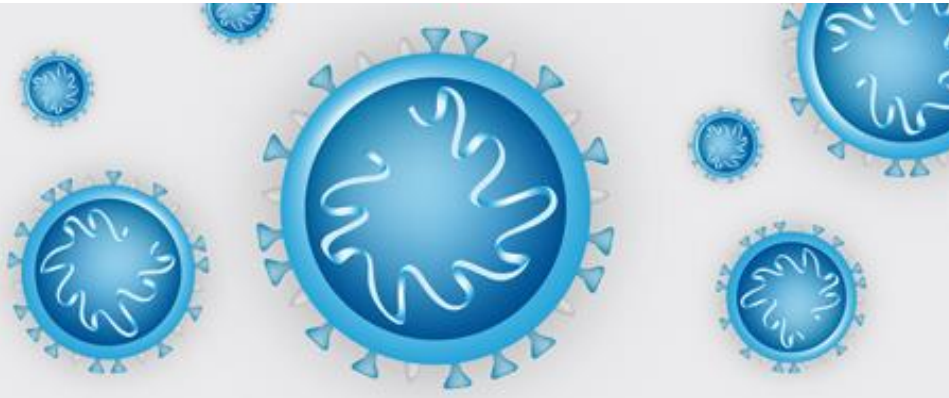
IV ドイツの教育

V コロナショックで考えた日本とドイツのこと

コロナショックで考えた日本とドイツのこと



COVID-19 新型コロナウイルス感染症



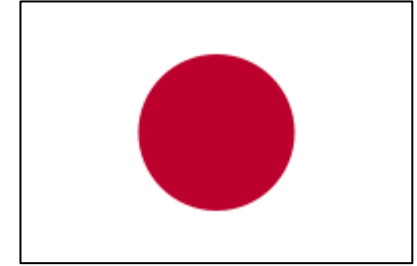
新型コロナウイルス感染症



コロナショックで考えた日本とドイツのこと



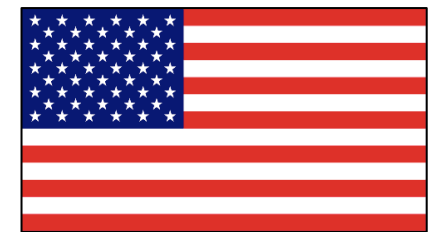
超国家管理



衛生環境・国民習慣



危機管理・科学アプローチ

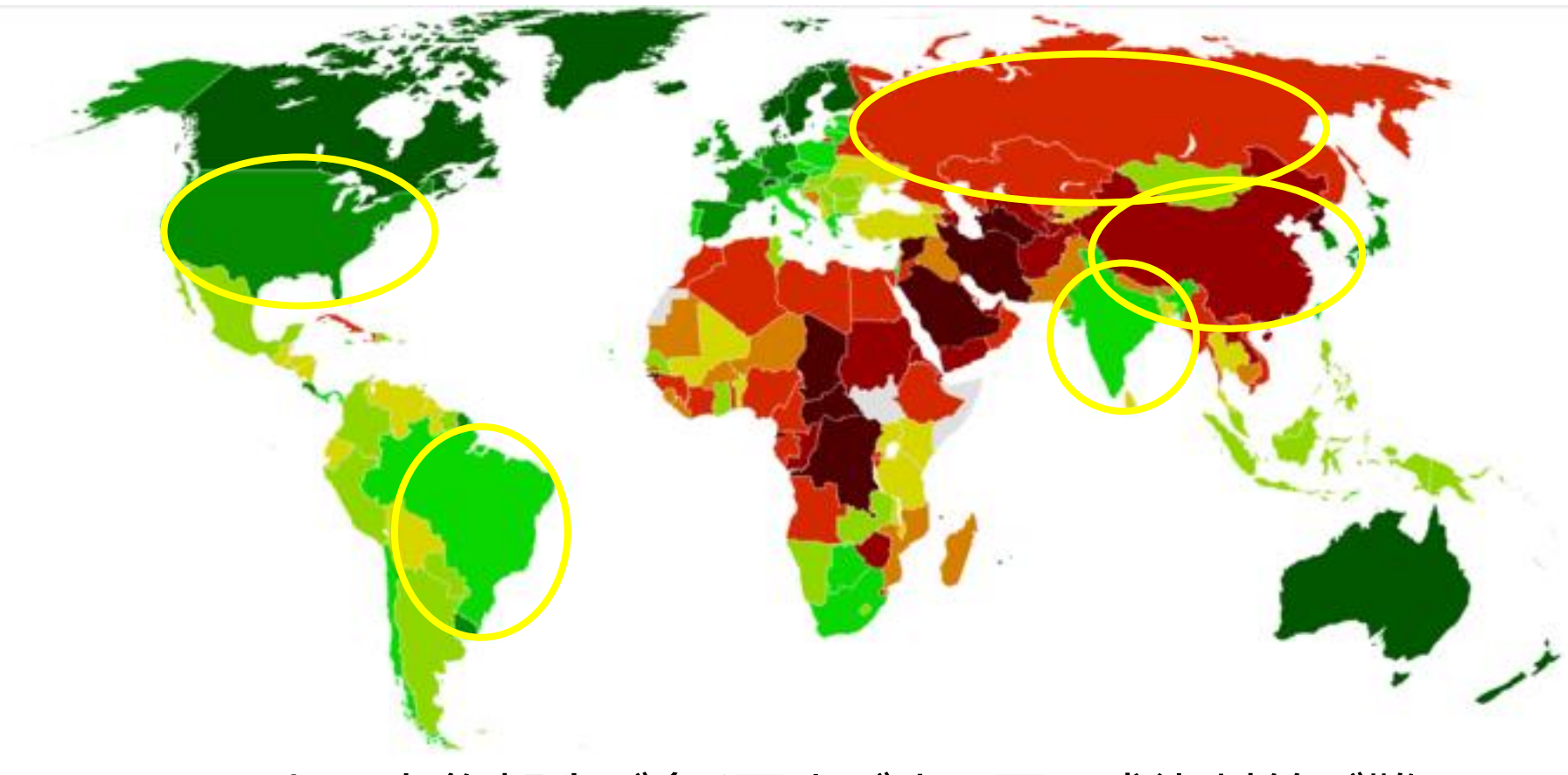


超民主主義・格差社会

コロナショックで考えた日本とドイツのこと

新型コロナ感染対策

民主度・国土面積・都市密集度を軸に考えてみた



人口 1000万都市 100万都市の数

	1000万超	100万超
米国	2	49
カナダ	0	6
インド	3	50
ロシア	1	10
ブラジル	1	6
豪州	0	5
日本	0	11
中国	13	289
アフリカ	4	89

人口密集都市が多く国土が広い国の感染対策が難しい

コロナショックで考えた日本とドイツのこと

中国がコロナ封じ込めに成功しいち早く経済急回復中

- 国家が個人を完全に監視支配する独裁政治でないと国家的な危機に迅速に対応できないのでは？
- やっぱり生活をよくしてくれる国家管理型の独裁政治の方がいい、となってしまうのだろうか？
- コロナ対策を機に多くの国で個人を管理することが正当化され国民もそれを受け入れるようになるのではないだろうか？

コロナショックで考えた日本とドイツのこと

独裁政治＝超管理国家 への誘惑

- 日本もドイツも共通
- 国民生活が立ち行かなくなったら、コロナ対策を理由に国の管理が強まる可能性
- 気がついたら法律が変わっている
- 第二次大戦前の悪夢がよみがえる

コロナショックで考えた日本とドイツのこと

盤石に見えるドイツにも死角はある

- VW社排ガス不正スキャンダル
「どうして現代（自動車）にできてうちではできないんだ！？」
- バイエルン国立歌劇場のオペラ演出
「最近は、とりあえず反ナチの演出にしとけば皆喜ぶからそれでオッケー」
- Netwerkdurchsetzungsgesetz（2017年 SNS規制法案）
「Afd（右翼政党）封じ込めの為」は正義？ 実は言論統制？

コロナショックで考えた日本とドイツのこと

これからの日本にとって大切な事

- 健全な批判精神と言論の自由
- 自ら考えて行動する自律性
- 優秀なリーダーとものをいう国民

思考の鍛錬

つまり、日本的同調性向の克服 まずは忖度の戒め

本日の講演はこれで終了します

若者の感性と行動が未来を創る

脳みそに汗をかいた分だけ健康な社会になる



plata.jp - 56004925

ご清聴ありがとうございました

＋終＋